

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：労働費 項：労政費 目：雇用促進費

事業名 岐阜県就職氷河期世代支援加速化事業交付金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 労働雇用課 就職氷河期世代支援係 電話番号：058-272-1111(内3664)

E-mail：c11367@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,884 千円 (前年度予算額：4,177 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,177	4,177	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,884	3,884	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

いわゆる就職氷河期世代は、現在、30代半ばから40代半ばに至っているが、雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った世代であり、その中には、希望する就職ができず、新卒一括採用をはじめとした流動性に乏しい雇用慣行が続いてきたこともあり、現在も、不本意ながら不安定な仕事に就いている、無業の状態にあるなど、様々な課題に直面している者がいる。

全ての世代の人々が希望に応じて意欲・能力を活かして活躍できる環境整備を進める中で、R2～R4年度に集中的に取り組んできた就職氷河期世代の就労等の支援については、国の経済財政運営と改革の基本方針2022において、R6年度までの2年間で第二ステージと位置づけ支援を実施し、成果を積み上げることとされた。

(2) 事業内容

市町村が就職氷河期世代を支援する事業に対し、交付金を給付する。

- ・地域における就職氷河期世代の実態調査、ニーズ把握、効果検証
- ・就職氷河期世代に特化した相談支援の実施
- ・多様な働き方や社会参加の場の創出 等

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫負担 10 / 10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
交付金	3,884	
合計	3,884	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

国

- ・ 経済財政運営と改革の基本方針2020
就職氷河期世代支援プログラム
- ・ 厚生労働省就職氷河期世代活躍支援プラン
- ・ 経済財政運営と改革の基本方針2022

(2) 事業主体及びその妥当性

就職氷河期世代の支援に向けて地域の環境を整備するためには、地域のニーズに応じた取組みを行う必要があることから、市町村が主体となって実施することは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 就職氷河期世代を含めたすべての世代が希望に応じて就労・活躍できる環境を整備する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H30)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
① 就職氷河期世代（35歳～49歳）の正規雇用就職者数	92人	/	/	110人	220人 (R5-R6の累計)	/

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	<p>就職氷河期世代の活躍に向けた環境整備を進めるためには、市町村が主体となって取り組む必要がある。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>令和3年度は市町村からの申請がなく、事業の実施に至らなかったが、市町村へ文書等で活用を呼びかけた結果、令和4年度から事業が実施されるなど、就職氷河期世代支援の気運醸成に繋がった。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>市町村の交付金活用を促進するため、引き続き、文書等で交付金活用を呼びかける。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 就職氷河期世代で長期にわたり希望外の就業や無業の状態にある方が直面する、就職、職業的自立の実現に向けた困難さ、複合的な課題を踏まえた対応が必要。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 就職氷河期世代の方のニーズを踏まえた支援を積極的に実施していく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	